

1・2年生 村上聖美先生とダンス教室

12月13日(火)



今年も村上先生に来ていただいてダンス教室を行いました。村上先生は本校の卒業生のため毎年教えるのを楽しみにしているそうです。今年「ワールドインダンサー」というヒップポップのノリノリの曲に挑戦しました。曲の入り方に動物のしぐさが入っ

ていたり、自分で自由に表現するパートがあったりして、子ども達は楽しく身体を動かしました。早いリズムにもついていける身体能力は素晴らしいものです。村上先生に「去年も元気でしたが、今年はずっと元気ですね。」と誉められました。

6年生 租税教室「もし税金がなかったら？」

12月13日(火)郡山税務署から熊澤さん、菊地さん、女ヶ澤さんの3名の講師の方にお出でいただき社会「税金とわたしたちの生活」の学習を行いました。子ども達はビデオを見たり、クイズに答えたりしながら、自分たちの学校や身近な道路・信号機にも税金が使われていることを知りました。また、小学校6年間で児童一人当たりにかかる税金は約510万円だそうです。思いのほか高額ですね。もし税金という制度がなかったら、学校も警察署も消防署も病院も有料になることを知り、税金の大切さを知りました。最後に1万札で1億円の束を実際に抱えてみて、その重量やかさを実感しました。



世界に一つだけの年賀状、俳画作品



全校児童が取り組んだ年賀状は15日以降、家庭にお返しします。俳句と絵の方は裏うち作業とフレーム入れが終わった学年から掲示していきます。教室や廊下の掲示板に素敵な作品が張ってありますので、皆様もご来校の際はご覧ください。フレームは同窓会からの寄付です。



歯科を受診した児童 (8/9~12/14)

この期間「むし歯治療のため受診した児童、その他の疾患や歯列関係、初期むし歯の疑い、口腔清掃等で受診した児童」は合わせて18名でした。

1年	遠藤	さん	渡邊	さん	渡邊	さん	加藤	さん
2年	鈴木	さん						
3年	鎌田	さん	浦山	さん	大沼	さん	本田	さん
4年	菅野	さん	矢吹	さん				
5年	小山田	さん	浦山	さん	白岩	さん	吉田	さん
	中島	さん	今泉	さん				
6年	白岩	さん						

未処置歯がある子どもさん(14名)のご家庭には、教育相談時担任より受診のお勧め通知をお渡ししました。この冬休み、治療をしていただくようお願いいたします。



市PTA連合会 教育講演会

12月10日(土)田村市文化センターで教育講演会が開催されました。講師は教育評論家 親野智可等(おやのちから)氏(本名:杉山桂一)でした。公立小学校での23年間教職を経て、現職です。小学生650人を教え、640家庭を見てきた経験から子育て、教育実践についてメールマガジンを開設し読者数4万5千人という全国的に高名な先生です。特に印象深かった話を紹介します。



●子どもを幸せ体質にしてあげれば将来も幸せになる

毎日叱り続けて、子どもを不幸せにしている親たちがたくさんいます。そして、その心の中にあるのは、「この子の将来のために今のうちに・・・。」という思いです。叱られている子どもは「いつも叱られている自分は本当にダメだ。何をやってもうまくいかない。うちの親はわたしのことが嫌いなんだろうな。」これがその子の基本認識になってしまいます。不幸せが身につけて不幸せ体質になってしまうのですから、幸せになれるはずがありません。子どもには、ぜひ次のような自己認識がもてるように心がけましょう。「自分はけっこういい感じだ。お父さん、お母さんはわたしのことをほめて認めてくれる。大切に思ってくれている。うれしいな。元気が出るな。あれもやってみよう。これもやってみよう。わたしは絶対できる。ああ、毎日楽しいな。」

言い換えると、幸せ体質にしてあげるということです。子どものときの一日一日が幸せなら、その延長線上で自然に将来も幸せになります。ですから将来の幸せのために今を犠牲にするという発想の子育てはやめて、今の一日一日を幸せにしてあげてください。

田村っ子のルール10 「相手のいいところを見つけよう」(ルール9)

玄関に飾られた花を見るときの心は人によって異なります。出入りするのに邪魔だと思ふ人もいれば、飾った人の優しさを感じる人、花があることにすら気づかない人…。花はあるがままに咲いているだけで、それに対して人がさまざまな見方をします。人が他の人を見るときにも同じことがいえます。見方や考え方を変えてみると、「しつこい人」は「熱心な人」、「頑固な人」は「意志の強い人」というように短所だと思われることも長所に見えてくるのではないのでしょうか。日々出会う人や物事に対しても、できるだけ良い面を見ることを習慣づけたいものです。

田村市、本校の傾向として、「相手のいいところを見つけよう」の項目が他の項目より大変低いことが挙げられます。今年は人権教育開発事業の一環としても、友だちの長所、自分の長所を認め合える人間関係を醸成する指導を重点としています。他との比較ではなく、かけがえのない存在としての子どもさんの長所を大いに誉め、認める会話を交わすご家庭であってほしいと思います。